

ひろば大代

NO.286

大代公民館

H15.5.23

雨の大江高山登山観察会奮戦記

大代高山会

「12日は、午前中は雨が残り、午後から晴れるでしょう」との天気予報。7時に公民館から眺めた感じでは、予報通りになると信じて、決行の判断をし準備を開始。しばらくして雨が降りだしましたが、それでも良く当たっている最近の天気予報を信じました。

8時頃には雨の中を続々登山者が集まり、山田自治会館前は100人近くにはなっていました。雨が少しひどくなってきました。ミニ講演では、

蝶と40年間遊んできたと言われる、大田蝶遊会代表の伊藤宏先生は、大江高山には食草カンアオイがたくさんある山だからギフチョウがたくさんいる。登山者と一緒に大江高山の自然を大切にして欲しい。

県立三瓶自然館学芸員の井上雅仁先生は、ミスミソウやイズモコバイモは、大

江高山にあるからこそ大切だということ

を伝え、守って欲しい。
熊に3回会い怖くないと言われる、自然観察指導員の橋本順子先生は、先祖代々守ってきた山だから、ギフチョウを獲らないでくださいと言う権利が地元の方にはあります。是非守って欲しい。

3人の講演は終わっても雨のやむ気配はなかったのですが、折角参加していただいた方の気持ちを思い、天気予報のあたることを願って出発しました。

途中指導員の話聞きながら頂上を目指し、登山道でかれんな花をつけたイズモコバイモ、ミスミソウがたくさん見えました。残念ながらギフチョウは見る事が出来ませんでした。

頂上では雨で何も見えず、立ったまま昼食をそそくさと済ませ下山となりました。途中はぬかるんで滑って大変でしたが、ロープを準備された方があり、順序良く次々木に巻きつけ、安全に下山できました。

来年は、ギフチョウと野草の花が、も

ギフチョウと野草の花が たくさん見られる大江高山

つとたくさん見られる登山となるように保護活動を行い、良い天気めぐり合わせとなることを祈りながら、初めてのギフチョウ登山を終えました。

参加者は、静間町から25名、久手町から12名、川合町・大田町からそれぞれ4名、その他市内から9名、市外では出雲市、江津市・石見町などから12名、地元から33名でした。合計99名でした。

小学校と公民館にギフチョウの卵を連れて帰り飼育・観察しています。観察にお立ち寄りください。また、カンアオイがありましたら、幼虫に食べさせますので是非教えて下さい。

登山道の草刈に感謝

山口県自然観察指導員 橋本順子

12日は、あいにくのお天気でしたが、イズモコバイモやミスミソウなどのたくさんのお花に出会うことができ、感動しました。また、あのような天気にもかかわらず、たくさんの方々の参加があり、大江高山によせる関心の高さにもびっくりしました。

そしてなにより感動しましたのは、大代の皆様の、大江高山によせる愛情です。愛情がなければ、あんな急な登山道の整



備など、なかなかできませんから。そして、ササ刈りをしてくださったおかげで、私たちは、貴重な植物に出会えることが出来ました。ほんとうにありがとうございます。

当日、ギフチョウにこそ会えませんでした。したが、まあ考えてみれば、貴重な花々と貴重なギフチョウに一度に出会えるなど贅沢の極みですから・・・。そういえば昨年はギフチョウにこそ出会えましたが、イズモコバイモやミスミソウの花には出会えませんでした。12日にギフチョウが姿をあらわしてくれなかったのは、また来年も大江高山にいらっしやい、ということでしょうね。

さて・・・12日の、大江高山自然観察登山で、ひとつだけ気になることがありますので、記しておきます。

いろんな山を歩いていると、整備されすぎた登山道に出くわすことがあります。それは、疑木や丸太で作られた階段状の遊歩道です。そういう階段は、えてして歩幅を無視して作られていることが多く、私たちはいつも、「こんなのは山など歩いたことのない設計屋が作ったに違いない。税金をかけてこんな無駄なものを作って・・・」とブーブー言いなが

大江高山への

愛情をいつまでも

ら歩くのが常ですし、所によつては、草ぼうぼうになった階段の横に立派な踏み分け道ができている場合もあります。

そういうふうには、階段状の遊歩道は不評ですが、しかし、時には階段が必要な場合もあります。大江高山もそうです。あのズルズルに滑る急な登山道、下山では、ほとんどの方がジグザグに

られた登山道を無視して、少しでも滑りにくい場所を求めて降りられていました。せっかく「大江高山の自然を大切に」という目的なのに、結果的には登山道周辺の自然を破壊してしまいました。

最近では、送電鉄塔のある山がおおく、そういう山には必ず、送電鉄塔の巡視路がついています。その巡視路の急な場所には、プラスチック製の簡易階段が設置してあります。登山者に不評な疑木などの立派な階段は不要ですが、せめて、滑って転びそうな急な場所には、巡視路程度の階段くらいあったほうがいいのでは、と思います。

と、また勝手なことを書いてしまいましたが、これも、私の大江高山に寄せる好意と思ってくださいませ。

美しい高山連峰の姿を見つめて

久手町 岩谷淳一

先日は、高山登山にグループ参加させていただき有り難うございました。

天候はいまひとつでしたが、地元大代町の皆さんの、心のこもったお世話により、思い出に残る登山となりました。

ギフチョウが大江高山にいたとは知りませんでした。先日は、この蝶や、食べ物のカンアオイ等を中心に、専門家の方々からわかりやすいお話をさせていただきました。その心配りに感動しました。

大江高山の地質、植物、動物：まだ知らないことだらけです。

私たちは、月に二十日位夫婦で昔の波根湖、現在の干拓地を夕方ゆっくり歩いています。そして美しい高山連峰の姿を見つめながら、毎日、同じ姿ではない山の表情を楽しんでいます。泥んこ登山で、これから毎年は登れませんが、好天の日を選んで登ってみようと思っています。ご指導いただいた方々に深く感謝申し上げます。

ギフチョウの理解者のひとりになれればとも思っています。ありがとうございます。



大江高山自然観察登山に参加して

大田町 匿名

4月12日大代高山会主催による自然観察登山が開催されました。ほんとに、主催者の方々ご苦労様でした。

市報で知り、行きたいな、と思っていきましたところ、近所の人が、何十年も山に登ったことがないけど、この齡「67」で登れるだろうか、の問いに、大丈夫！一緒にいこうと決心しました。当日までにもう一人誘って三人で行くことになりました。

当日は雨で、天気予報も午後から晴れるとのことで雨の中を決行しましたが、雨はやまず足元は滑るすべるは、悪戦苦闘の中、「あれがイズモコバイモ、これがミスミソウ、あれがフタバアオイ」等あちこちから声が聞こえてくる。時々立て札が立ててあるのでわかりやすい。雨の中前の方ばかり説明して、後のほうは坂の途中で止まって動かず非常に疲れた。それが頂上近くまでつづくので、後ろの方の人には不満の声がありました。

頂上についたときは12時を過ぎて、はらぺこでした。待つてましたと

いつか見たい



ギフチョウの乱舞



弁当を広げて食べだすと、雨はだんだんひどくなり、みんな腹の中に詰め込むのが精一杯、10分ぐらいで下山の用意、残念でした。

下山途中はだんだん足場が悪く、人の歩いた跡はどうしようもないほど滑ってしまふ。皆、おもしろいおもしろい、竹笹や、小木の上を、みちをつけながら降りてきました。ちよつと荒らしちゃったが、ごめんなさい。

今日の観察会は、一日中雨で主役のギフチョウは見られなかったが、大江高山には、貴重な宝物が、たくさんあるんだな、と今日一日の雨登山もいかな…三人で話しながら帰路に着く。

パンフレット、しおり、アンケート、いろいろと、役員の方々のご苦労がわかります。今後ともがんばってください。

登りたかつた大江高山

浜田市 増野香代子

先日はどうも有り難うございました。雨の登山で残念でしたが、地元の人達の計り知れぬ気づかいを有り難く思いました。

数年前、朝日新聞で大江高山の

植物イズモコバイモが絶滅寸前、と書いてあるのを見ましてから、益々興味を持つようになりましたが、一度登つてみたいと夢を持ち続けてまいりました。

イズモコバイモの姿は初めて見ました。一本の茎に一つの花、下を向いて咲く姿は若い乙女を思い起こさせてもらいました。

ミスミソウは日照りの良い場所を好むのでしようか。頂上に近づくにつれ、多く見られました。落ち葉の重なりを利用して湿気を保ち水分を欲するのでしようね。そのためにもブナやカエデなど落葉樹の木が大切だと思ひながら一人最後になりましたが、自分の歩調で何としても頂上へ頂上へと登りました。

驚がきれいな声で鳴くのも久方ぶりうれしかったです。ギフチョウは見る事は出来ませんでした。こんな山の中で群舞する姿は見事でしょうね。いつか見たいと密かに胸の内待ち続けるでしょう。自分の老いを省りみずにね。でも満足でした。ご婦人達の明るく元気なお声にも励まされての登山でしたし、遠く眺めてやさしい形の大江高山でした。土地柄大江高山を中心に伸びる町だと思ひます。

ロープを張つて下さったお人達本当に有り難うございました。よろしくお伝えくださいませ。

お礼

大田市 須田郁子

はがきをありがとうございます。

大田市で二番目に高い山、大江高山に一度登りたかったのです。市報で見つけてすぐに決心しました。五十六才という年齢で登れるかな？と少々心配をしていました。年配の方々の多さにびっくり、安心しました。

お天気と道は悪かったけれど、とっても楽しかったです。久々に家を離れ、自分の遊びを一日できて、リフレッシュ致しました。ギフチョウなるものを見るまでは登ります。お天候と、私の体調と家族も元気でいてくれてこそ出かけられます。家族の健康を祈りつつ来年を待ちます。

権原さん軍手をありがとうございます。「杖があつたがいいよ」と言って下さり、杖を持参したことが、降りる時とても役に立ちました。

下山した時、世話やきの方々が待っていて下さり「くろうさん」と言ってくださった時、嬉しかったです。熱いお茶が一杯あると、もっとホッとするかな。と。図々しくも思いました。地元の方の暖かいお心を感じました。

ギフチョウ捕虫禁止札は立てられない

いものでしょうか。応援致します。

大江高山に産する貴重な植物

島根県立三瓶自然館

学芸員 井上雅仁

私達の大江高山講座 第三回

4月の小雨のなか、大江高山春の登山に同行しました。山の木々は芽吹き始めたばかりでしたが、山頂への途上では様々な草花に出会えました。なかでもイズモコバイモとミスミソウは白く可憐な花をつけ、我々の目を楽ませてくれました。登山途中には点々と目にすることができましたが、実はこの2つ、島根県内で絶滅が心配されている植物という一面もあります。県内で絶滅の恐れのある生物をまとめたい「しまねレッドデータブック」という本のなかで、それぞれ緊急保護種、要保護種として取り上げられています。いずれも、もともとの生育地が少なく、また近年はその生育数も大幅に減少しているようです。なぜ絶滅が心配されているのか、その理由は様々ですが、両者とも美しい花をつけるため山野草と

して持ち去られることが大きな理由と考えられています。

このうちイズモコバイモは島根県にだけ産する植物で、その生育地は県内でも数カ所といわれています。もし大江高山を含め県内の個体が絶滅してしまつたら、地球上からその種が消滅してしまうのです。

みなさんの家のすぐ裏にある大江高山は、そんな貴重な植物も生育しています。次の世代の人々も、これらの植物を愛でることができるようになりたいものです。

大江高山登山アンケート

アンケートにお答えいただいた方は、38名で、内はじめて登山された方は18名、2回目は10名、3回以上の方は10名で内7回目の方もありました。ギフチョウや山野草を知っていた方は24名で、登山される方の大半は大江高山の自然をよく知っておられる方と思われまます。

● 登山道の草刈りを地元の方がされているとの事よく出来ていて感心しました。ありがとうございます。

● 雨を心配し、特に私は足が弱いので皆様にご迷惑をかけるのではないかと心配していましたが、主催者の皆様のお心配りにより何とか山田峠まで

登れました。自治会の役員の皆様、何から何までごまかい心遣いをいただき、雨の登山も、とてもいい思い出になりました。

● 大代町をスタートに、市民運動をめぐらし、必要に応じて、市の条例、規則で保護する市民のムードを盛り上げ、積極的な保護へ発展させたい。
● ギフチョウ、高山の植物等初めて聞くことばかり。専門家の方々の要領

すばらしい！
最高齢者80歳の登山！

● のよい、適切なお話に感動しました。これからも、登山者に一口メモ的に専門家のご指導をいただければ、喜びます。
● 地元の方が大切にしてもらえることを、今日の説明ではじめて知りました。山を愛する者の責任で保護に協力したい。
● 雨天中止となっており、だめかと思っております

● た。一回目に登った時は途中から降り出し、後大雨の中を大変な思いをして下山しました。私は雨女かと思えました。しかし大変だった分思い出に残る登山でした。
● 今は益田に住んでいます。ふるりの山に一度登りたいと思っております。やっと実現しました。ギ

フチョウには会えませんでした。数々の高山植物がけなげに咲いており、心洗われる思いでした。また登りたいと思っております。

● 私は静間町からまいりました八十歳の老女です。思い切って今日参加させて頂きました。色々な様子を聞きながら大変楽しい一日でした。又後日登りたく存じます。

● 雨が降って残念でしたが、花がたくさんあって楽しかったです。

● 雨でギフチョウにあえなかつたけど、来年か再来年にギフチョウを見にきたいと思えます。楽しかったです。

● 登山道もしっかりしてよかったです。

● いつまでも美しい山であってほしい。雨で少し残念でしたが、とても美しい花との出会いに感激でした。

● 山野草等がたくさん生育しているのは、草刈りなどの手入れのおかげという事で、保護活動がとっても大切だと感じました。

● 昨年登山した時は、頂上は一面雪でした。今日は雨でギフチョウが見られなくて残念でした。又の機会にギフチョウに会いたいと思えます。

● 地元の人の下草刈りなど、奉仕があつてこそ、自然が守られていることを痛感しました。いつまでも楽しい登山ができますよう、今後ともよろ

しくお願ひします。

● 天候が悪く残念でしたが、指導員の方々の説明があつて大変参考になりました。解説して下さる人がもっと多ければよかつたと思ひました。

● 途中頂上まで何メートルという標示があれば良いと思ひました。ギフチョウに出会えず残念でした。

● 雨が降つたけど、説明が聞けて良かった。道がぬかるんで帰りは少しこわかつた。

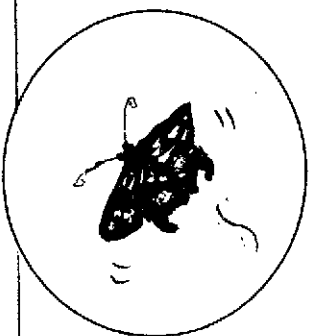
● 下草が刈り込んであつたので、お花がたくさん見られました。

● 色々説明を聞き楽しみに登りましたが、とうとうギフチョウは見られませんでした。来年を楽しみにしております。

● 市内でこんなにも山野草が身近に見られるなどは知らなかつた。本当に保護をせねばならないと思ひます。保護に協力します。

● 雨でしたが、山野草が見えてとても嬉しかつた。ギフチョウは見えなかつたので残念でした。

来年も来
ましよう。



思いつくがままに

上飯谷 飯田 徹



誇れる大代町に もつともつ

大代市の最南端・大代町。南、といえは、暖かい、という響きはあるものの、大代の冬は寒い。雪も市内ではいち早く降る。「高齢化率は市内一」「過疎化は激しい」…このような言葉を並べると、とても暗いイメージになってしまう。大代の市街地の人たちに「大代から通っています。」と言うと、「それは大変です。」とねぎらいの言葉をいただく(?)「ええ、まあ」と笑いながら返答はするものの、実はそんなことはない。

このまちは、何かやろうと思うと、けっこう町全体がまとまって物事が動き出す。「人が少ない」から、案内一つの方向にまとまりやすいのかもしれない。さらに、大代市の中心から遠いがゆえに「自分たちの力で何とかしよう」

という、本来の地域の自立心、根性に似たものから生まれるパワーなのではないかと思う。

私はこのまちに生まれ、育ち、家庭をもつて生きている。だから、自分のまちがもつともつと誇れるまちに、町民が生きてきたまちになってほしいと思う。そのために知恵を出し合いたい。このまちの夢を持ちたい。そして、理くつだけでは、もちろんダメで、自分のこととして具体的に動くこと。

きつと多くの先輩方も、こんな思いで我がまちの歴史はこれまで築き上げられてきたのではないかと思う。その中で子供たちは育ち、地域の文化や伝統を身につけ、将来大人になっても思いをさせ、中には都会から帰ってきてくれる人も出てくるのではないか。

頑張ろう。みんなで頑張ろう。大代PTAもその中核にならないといけないでしょ。

※大代小学校PTAが発行されている「らくがき帳」から転載させていただきました。

◎ パソコン初級者

講習会のお知らせ

公民館では初級者の方を対象にIT講習会を次の日程で開催いたします。

参加費無料です。先着各々10名

◎日時 6月12日・13日

午後1時30分～午後4時30分

◎日時 6月16日・17日

午後7時～午後10時

場所 大代小学校屋体ミーティングルーム
申し込み締切り 6月6日(金)
公民館までお早めに

6月行事予定

▼ 8日(日) 歩け歩け大会

目的地 湯谷温泉「弥山荘」

場所 公民館前午前8時45分集合

▼ 8日(日) 関西高山会総会

▼ 15日(日) 大田市消防操法訓練大会

▼ 17日(火) さくらんぼ教室

▼ 22日(日) 福祉弁当

▼ 23日(金) 連合自治会

|| お詫び ||

4月発行しました「ひろば」に印刷ペー
ジに誤りがあり再発行してお届け致し
ました。大変ご迷惑をおかけし申し訳ござ
いませんでした。